議事資料（2）

上下水道事業経営審議会
令 和 4 年 2 月 15 日

令和４年度盛岡市下水道事業会計予算（案）の概要

盛　岡　市　上　下　水　道　局

令和４年度　盛岡市下水道事業会計予算（案）の概要

Ⅰ　はじめに

本市の下水道事業は，市街地の中心部を対象として昭和28年に事業着手し，その結果，令和２年度末で行政区域内人口に対する普及率は89.8％となっています。今後は新型コロナウイルス感染症による影響も不透明な中で，老朽化した施設への対応，自然災害等への対策，流域下水道維持管理負担金の増額への対応が課題となっています。

これらの課題に応えるため，令和４年度は道明地区をはじめとした管渠整備等の実施及びストックマネジメント計画に基づいた計画的な維持管理を進めるとともに，雫石川以南地区の事業計画区域を対象に，令和３年度までに実施した浸水解析業務に基づき，内水ハザードマップを作成します。また，汚水処理未整備区域の早期水洗化を図るため，公共下水道計画区域の見直しと浄化槽による水洗化促進に取り組みます。

これからも，盛岡市総合計画の実施計画で示す「汚水処理の充実」「雨水浸水対策の推進」「地方公営企業の経営の効率化及び健全化」を施策の柱として，盛岡市下水道事業中長期経営計画に基づき，今後策定される盛岡市国土強靭化地域計画も踏まえ，将来を見据えた策定将来を見据えた持続可能な事業運営を推進します。

Ⅱ　主要事業について

１　汚水管渠整備事業

未整備地区の幹線整備と面整備を行うとともに，街路・道路事業及び土地区画整理事業に併せて管渠整備工事を実施します。

単位：千円

事業の区分等	主要事業の内容	予算額
(1)交付金事業	10 地区 1,958m（下太田，向中野，下鹿妻，三本柳，黒川，渋民，東中野，中太田，飯岡新田，永井）	386,800
(2)起債単独事業	20 地区 5,182m（下太田，中太田，飯岡新田，東中野，西見前，永井，津志田，上厨川，黒川，下飯岡，湯沢，芋田，三本柳，下鹿妻，向中野，安倍館，高松，南仙北，渋民，下田）	800,100
(3)純単独事業	盛南中央第一処理分区　334m（道明地区生活環境整備事業） 好摩東ﾏﾝﾎｰﾙﾎﾟﾝﾌﾟ及び向川崎ﾏﾝﾎｰﾙﾎﾟﾝﾌﾟ更新工事	54,296
(4)他事業関連事業	２地区 340m（道明地区土地区画整理事業）	40,800

２　雨水管渠整備事業

浸水防除のため，幹線整備を行うとともに，道路事業及び土地区画整理事業に併せて面整備を実施します。

単位：千円

事業の区分等	主要事業の内容	予算額
(1)交付金事業	５地区 600m（青山，向中野，東安庭，三本柳，東見前） 雨水出水浸水区域浸水解析モデル構築業務委託 中川原雨水ポンプ場詳細設計業務委託	312,940
(2)起債単独事業	10 地区 635m（西下台，緑が丘，上田堤，青山，上堂，永井，津志田，三本柳，東新庄，上田）	74,950
(3)他事業関連事業	南川第三排水区（都南中央第二地区生活環境整備）	9,000

３　下水道施設の耐震化・改築更新

下水道施設を計画的かつ効率的に管理するため，ストックマネジメント計画に基づく改築・更新を実施します。また，雨水ポンプ場施設等の耐震化について検討を進めます。

単位：千円

事業の区分等	主要事業の内容	予算額
(1)長寿命化対策事業	松園第一分区人孔口環改修工事等 菜園分区外管渠更生工事 木賊川１号雨水マンホールポンプ施設外更新工事	110,098

４　安定した汚水処理の確保及び水洗化普及促進

安定した汚水の処理の確保及び浸水被害の防止を図るため，既存施設の改修・修繕を実施するほか，岩手県が施行している北上川上流流域下水道都南処理区の建設事業の促進のため，建設負担金を支出します。

また，公共下水道への切替えや水洗化普及の促進を図るため，各種補助制度や資金融資制度の利用を啓発します。

単位：千円

事業の区分等	主要事業の内容	予算額
(1)安定した汚水処理	北上川上流流域下水道維持管理負担金	2,084,924
	北上川上流流域下水道建設負担金	94,807

(2)施設の適正な維持管理	汚水管修繕（松園第一分区等）	83,684
	北地区外下水道管路施設清掃業務委託等	64,023
	ポンプ場ポンプ修繕等	69,258
(3)融資・補助制度	私設下水道設置事業補助，私設下水道補修事業補助，排水設備普及資金利子補給	7,723

５　お客さまサービスの向上

お客さまのニーズに応えるため，民間企業が持つノウハウやネットワークを活用し，窓口業務の充実とともに，毎月徴収制度などの周知を図り，お客さまサービスの向上に努めます。

また，市広報紙，上下水道局広報紙「みずの輪」及びホームページ等による情報発信を行うほか,マンホールカードの配布を継続しながら,親しみやすい広報展開に努めます。

単位：千円

事業の区分等	主要事業の内容	予算額
(1)お客さまの利便性・満足度向上	検針・料金徴収業務委託 スマートフォン決済（LINE Pay，PayPay，Ｊ-Coin Pay，au PAY）	182,117 （下水道使用料 事務負担金）
(2)広聴・広報の充実	ホームページ運用保守管理及び広報紙「みずの輪」制作等業務委託	1,607 水道事業会計への負担金
	市広報紙「広報もりおか」掲載料	6

６　健全経営の推進

債権管理を徹底し，コロナ禍においても下水道使用料をはじめとする収入の確保に努めるとともに，将来予想される施設の更新需要の増加に備え，建設投資の内容の精査・検討を行い，一層の経営の効率化を推進します。また，将来の下水道事業を担う人材の育成に努めます。

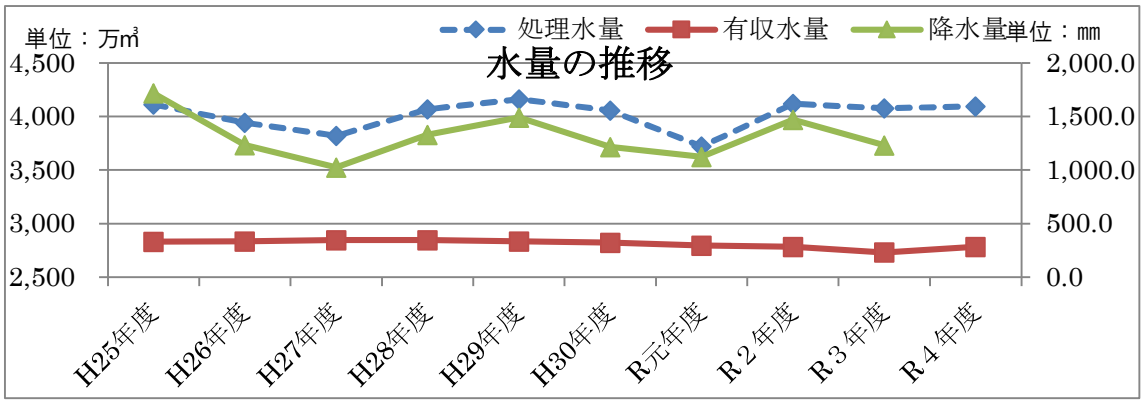
単位：千円

事業の区分等	主要事業の内容	予算額
(1)経費の削減･効率化の推進	下水道台帳システム経費（データ更新業務，機器及びサーバー賃貸借）	10,534
(2)収入の確保	滞納整理専門員の配置	3,414
(3)人材育成･技術継承の推進	企業職員研修費	4,010

Ⅲ　業務量について

本年度の業務量は，前年度に比較し，処理戸数で 1.6%の増，年間処理水量で 0.5%の増とした。

年　度	令和４年度 (A)	令和３年度 当初(B)	比較増減 (A)－(B)	増減率	令和３年度 見込(C)	比較増減 (A)－(C)	増減率
処理戸数（戸）	126,678	124,741	1,937	1.6%	125,689	989	0.8%
処理人口（人）	256,353	259,920	△3,567	△1.4%	256,462	△109	0.0%
年間処理水量（千㎥）	40,968	40,783	185	0.5%	41,003	△35	△0.1%
有収水量(千㎥)	27,842	27,322	520	1.9%	27,702	140	0.5%



Ⅳ　予算規模について

１　収益的収入及び支出

収益的収入は，8,452,303 千円を予定し，前年度予算額 8,339,983 千円に比較し，112,320 千円（1.3%）の増とした。増の主なものは，他会計負担金 13,138 千円，長期前受金戻入 20,682 千円，減の主なものは，引当金戻入益 5,538 千円である。また，下水道使用料は，4,552,921 千円を見込み，前年度予算額 4,476,362 千円に比較し，76,559 千円（1.7%）の増とした。

支出については，8,346,569 千円を予定し，前年度予算額 8,142,520 千円に比較し，204,049 千円（2.5%）の増とした。増の主なものは，流域下水道管理費 194,347 千円，処理場費 58,381 千円，総係費 34,199 千円，減の主なものは，支払利息及び企業債取扱諸費 59,787 千円である。

これにより，本年度予算における純利益は 1,596 千円となり，前年度予算の純利益 86,377 千円に比較し，84,781 千円（98.2%）の減となった。

２　資本的収入及び支出

資本的収入は，2,239,415 千円を予定し，前年度予算額 2,378,564 千円に比較し，139,149 千円（5.9%）の減とした。減の主なものは，他会計負担金 77,513 千円，国庫補助金 63,234 千円である。

支出については，5,031,567 千円を予定し，前年度予算額 5,295,898 千円に比較し，264,331 千円（5.0%）の減とした。減の主なものは，建設改良費 139,638 千円，企業債償還元金 131,693 千円である。なお，収入額が支出額に不足する額 2,792,152 千円は，損益勘定留保資金等で補填するものとする。

Ⅴ　下水道事業会計予算の概要

（単位:千円，％）

区分			令和４年度予算額（Ａ）	令和３年度予算との比較 予算額（Ｂ）	令和３年度予算との比較 比較増減（Ａ－Ｂ）		令和３年度決算見込との比較 決算見込額（Ｃ）	令和３年度決算見込との比較 比較増減（Ａ－Ｃ）	
収益的収入及び支出	収入	１．下水道使用料	4,552,921	4,476,362	76,559	1.7	4,572,166	△19,245	△0.4
		２．他会計負担金	2,815,641	2,802,503	13,138	0.5	2,762,445	53,196	1.9
		３．長期前受金戻入	953,817	933,135	20,682	2.2	931,069	22,748	2.4
		４．引当金戻入益	83,503	89,041	△5,538	△6.2	61,961	21,542	34.8
		５．その他	46,421	38,942	7,479	19.2	43,573	2,848	6.5
		合計	8,452,303	8,339,983	112,320	1.3	8,371,214	81,089	1.0
	支出	１．営業費用	7,735,117	7,472,140	262,977	3.5	7,305,449	429,668	5.9
		（管渠費）	(445,002)	(445,479)	△477	△0.1	(395,959)	49,043	12.4
		（ポンプ場費）	(156,714)	(205,508)	△48,794	△23.7	(183,701)	△26,987	△14.7
		（処理場費）	(223,481)	(165,100)	58,381	35.4	(160,991)	62,490	38.8
		（普及費）	(54,042)	(55,899)	△1,857	△3.3	(50,341)	3,701	7.4
		（受託事業費）	(44,456)	(38,167)	6,289	16.5	(26,535)	17,921	67.5
		（業務費）	(209,413)	(207,578)	1,835	0.9	(201,316)	8,097	4.0
		（総係費）	(366,212)	(332,013)	34,199	10.3	(274,601)	91,611	33.4
		（流域下水道管理費）	(2,084,924)	(1,890,577)	194,347	10.3	(1,890,577)	194,347	10.3
		（減価償却費）	(4,143,873)	(4,124,819)	19,054	0.5	(4,117,889)	25,984	0.6
		（資産減耗費）	(7,000)	(7,000)	0	0.0	(3,539)	3,461	97.8
		２．営業外費用	600,452	659,378	△58,926	△8.9	663,776	△63,324	△9.5
		３．特別損失	1,000	1,002	△2	△0.2	1,002	△2	△0.2
		４．予備費	10,000	10,000	0	0.0	10,000	0	0.0
		合計	8,346,569	8,142,520	204,049	2.5	7,980,227	366,342	4.6
	収支差引額		105,734	197,463	△91,729	△46.5	390,987	△285,253	△73.0
	税抜き純利益		(1,596)	(86,377)	(△84,781)	(△98.2)	(278,893)	(△277,297)	(△99.4)
たな卸資産購入費			22,000	22,000	0	0.0	22,000	0	0.0
資本的収入及び支出	収入	１．企業債	1,309,500	1,285,300	24,200	1.9	1,404,000	△94,500	△6.7
		２．負担金及び分担金	563,709	663,823	△100,114	△15.1	627,775	△64,066	△10.2
		３．補助金	366,206	429,440	△63,234	△14.7	829,743	△463,537	△55.9
		４．固定資産売却代金	0	1	△1	－	1	△1	－
		合計	2,239,415	2,378,564	△139,149	△5.9	2,861,519	△622,104	△21.7
	支出	１．建設改良費	2,158,906	2,298,544	△139,638	△6.1	2,790,941	△632,035	△22.6
		２．企業債償還金	2,862,111	2,993,804	△131,693	△4.4	2,993,804	△131,693	△4.4
		３．その他資本的支出	10,550	3,550	7,000	197.2	5,531	5,019	90.7
		合計	5,031,567	5,295,898	△264,331	△5.0	5,790,276	△758,709	△13.1
	資本的収支不足額		2,792,152	2,917,334	△125,182	△4.3	2,928,757	△136,605	△4.7

※　資本的収支不足額2,792,152千円は，当年度分損益勘定留保資金等で補填する。

Ⅵ　事業の概要について

（税込み額）

○ 収益的支出における主な事務事業

１．管渠施設維持管理事業	445,002 千円
２．ポンプ場施設維持管理事業	156,714 千円
３．処理場施設維持管理事業	223,481 千円
４．水洗化・排水設備普及事務	46,628 千円
５．私設下水道設置費補助事業	7,414 千円
６．流域下水道維持管理費	2,084,924 千円

○ 資本的支出における主な事業

１．汚水管渠整備事業		1,502,630 千円
（１）交付金事業	L＝ 1,958m	（ 386,800 千円）
（２）起債単独事業	L＝ 5,182m	（ 800,100 千円）
（３）純単独事業	L＝ 334m	（ 54,296 千円）
（４）他事業関連（道明地区）	L＝ 340m	（ 40,800 千円）
（５）建設事務費		（ 220,634 千円）
２．雨水管渠整備事業		444,690 千円
（１）交付金事業	L＝ 600m	（ 312,940 千円）
（２）起債単独事業	L＝ 635m	（ 74,950 千円）
（３）純単独事業	L＝ 0m	（ 30,000 千円）
（４）他事業関連（中二地区）	L＝ 0m	（ 9,000 千円）
（５）建設事務費		（ 17,800 千円）

３．長寿命化対策事業　　116,143 千円

（１）交付金事業　　Ｌ＝　115m　　（　32,672 千円）

（２）起債単独事業　　Ｌ＝　620m　　（　62,312 千円）

（３）純単独事業 …… （　15,114 千円）

（４）建設事務費 …… （　6,045 千円）

４．流域下水道事業　　94,807 千円

（１）流域下水道建設費負担金 …… （　94,807 千円）

５．その他施設整備事業　　636 千円

（１）工具器具備品取得事業 …… （　636 千円）